

# 第2期 千種区将来ビジョン

令和6年度～令和10年度





## 千種区民の皆さまへ

日頃より、区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このたび、令和10年度までの5年間の千種区のめざすべき姿を明らかにし、その実現に向けた取り組みを第2期千種区将来ビジョンとして取りまとめました。

千種区は、住環境・商業・自然・教育がバランスよく調和したまちとして発展していることから、「住みたいまち住みやすいまち千種区～暮らしやすさを実感できるまちをめざして～」を基本目標に掲げました。

基本目標の実現に向けて、区民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら、「千種区に住んでよかった」と一人でも多くの皆さまに思ってもらえるよう、職員一丸となって取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年5月 千種区長

## 目次

第 1	はじめに	P 1
第 2	千種区の概要	P 3
第 3	千種区将来ビジョンについて	P21
第 4	基本目標の実現に向けて	P22
	めざすまちの姿	
1	地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち	P22
2	安心して子育てができ、子どもや若者が健やかに成長できるまち	P24
3	誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち	P26
4	魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち	P28
5	快適な都市環境とを感じるまち	P30
	信頼される区役所づくり	P32



# 第 1 はじめに



## 1 区将来ビジョンとは

区将来ビジョンとは、平成29年3月に名古屋市が策定した「区のあり方基本方針」に基づき、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化したものです。

また、区将来ビジョンは、名古屋市がめざす都市像の実現のために必要な施策や事業を総合的・体系的に取りまとめた名古屋市総合計画の個別計画に位置付けられています。

## 2 計画期間

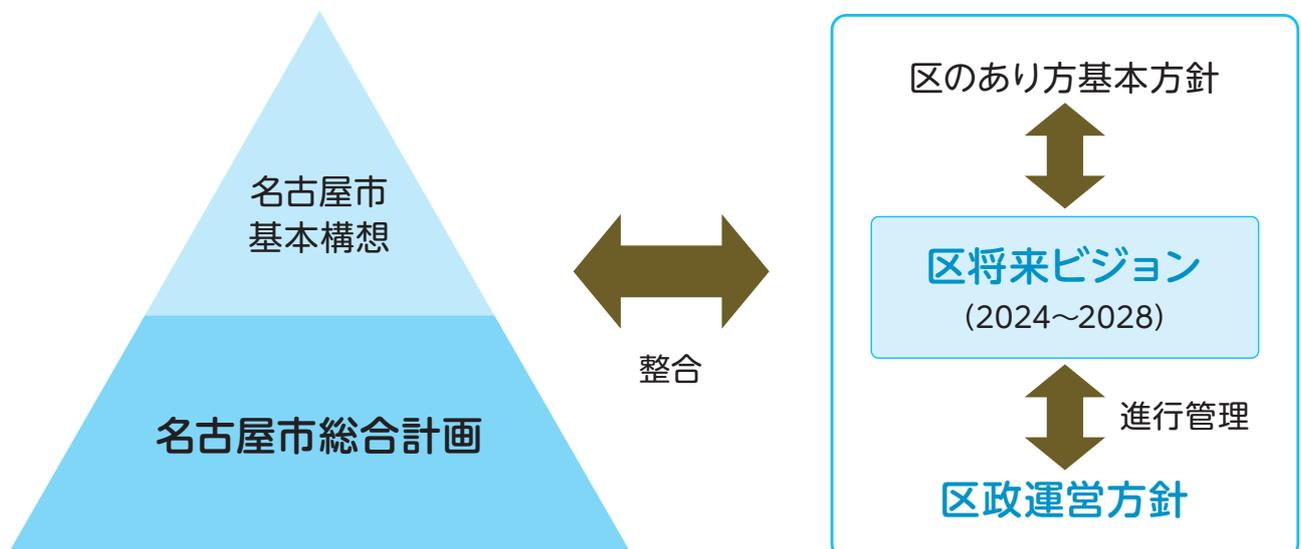
令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間です。

## 3 区将来ビジョンの推進に向けて

区将来ビジョンに基づき実施する年度ごとの具体的な取り組みについては、毎年度策定する区政運営方針に掲載し実行することで、区将来ビジョンの推進をはかります。

また、区将来ビジョンの進行管理も区政運営方針において行います。

なお、「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念に基づく経済・社会・環境が調和したまちづくりを進めます。



## 持続可能な開発目標SDGs(エスディーゼズ)とは・・・

平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて、持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable(サステイナブル) Development(ディベロップメント) Goals(ゴールズ))を含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

SDGsとは、世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定されており、いずれも令和12(2030)年までの達成をめざすものです。

すべての関係者(先進国、開発途上国、民間企業、NGO(エヌ ジー オー)、市民、有識者など)の役割を重視し、「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、経済・社会・環境をめぐる幅広い課題に統合的に取り組むものとされています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



#### 区のシンボルマーク



千種区の「千」の字を伸びる樹にみたて意匠化し、太陽と緑に恵まれた区をイメージしたもの

(昭和47年1月20日制定)

#### 区のマスコットキャラクター こあらっち



コアラをモチーフにしたキャラクター  
頭のアジサイとまあるいしっぽがチャームポイント

(平成21年9月27日誕生)

#### 区の花 アジサイ



梅雨期、装飾花が球状に集まって咲く  
毎年6月は千種区アジサイ月間としてPR

(平成2年1月22日制定)

#### 区の木 ハナミズキ



秋になるとあざやかに紅葉し、楕円形の果実が深紅色に熟して美しい落葉中高木

(平成2年1月22日制定)



# 第2 千種区の概要



## 1 歴史・沿革

- 明治21年 市町村制の施行により千種村、鍋屋上野村、田代村が発足
- 35年 千種村を千種町と改称
- 39年 鍋屋上野村及び田代村が合併し東山村に
- 大正10年 千種町及び東山村が名古屋市東区の区域として編入
- 昭和12年 東区から分区して千種区が誕生
- 30年 愛知郡猪高村を千種区に編入
- 50年 名東区の一部として猪高地区が分区、千種区が現在の区域に



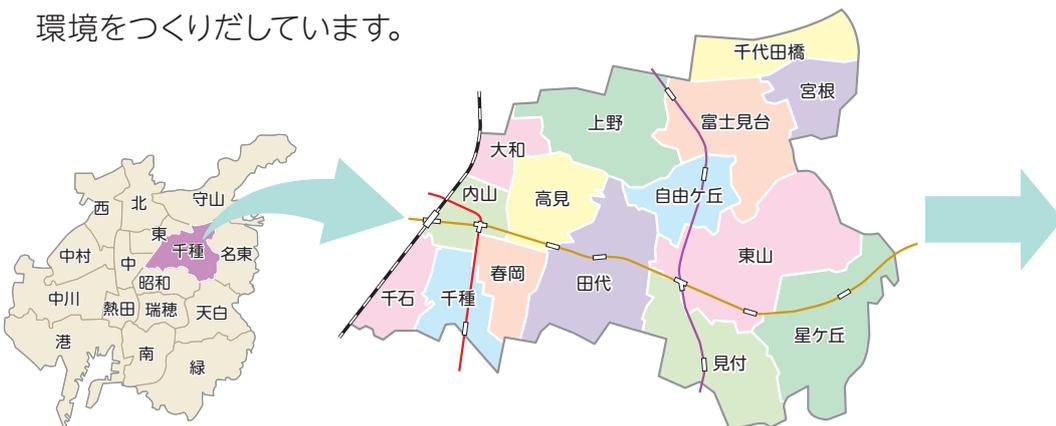
覚王山から末盛付近（昭和12年頃）



今池交差点（昭和30年頃）

## 2 千種区ってこんなまち

- 地下鉄が3路線11駅、JR中央線が1駅あり利便性に恵まれています。
- 今池・本山・星ヶ丘地区を中心に商業が発展し、人気の飲食店や商業施設があります。
- 日泰寺や揚輝荘など歴史的建造物が多く残されています。
- 約400ヘクタールの自然豊かな「なごや東山の森」が広がり、東山動植物園、平和公園など豊かな自然が残されています。
- 多くの高校や大学があり、文教地区にふさわしい環境をつくりだしています。



次のページから  
学区を紹介します

## 千種学区

千種学区の誕生は明治5年、当時の愛知郡古井村元古井の里に義校(千種小学校の前身)が開校された時まで遡ります。

明治以前、このあたりは鳴海庄古井村と呼ばれており、信州と名古屋を結ぶ飯田街道によって栄えていました。明治9年に古井村から千種村と改称され、その後、明治35年に町制が敷かれて千種町となり、大正10年に名古屋市に編入されて、急速に都市化が進み、住宅地として大きく成長していきました。

そして、現在の千種学区は、JR中央線(千種駅)、地下鉄東山線(千種駅と今池駅)、地下鉄桜通線(吹上駅)、名古屋高速道路出入口(吹上)と、交通の要所に囲まれ、通勤通学に便利で暮らしやすく、また校区の創立150周年をむかえた千種小学校を始めとして、今池中学校や第2幼稚園そして私立の幼稚園や保育園があり、子育てに安心安全な学区となっています。

学区のほぼ中央には「千種コミュニティセンター」が位置していて、学区民の交流の場となり、また様々な学区内行事や活動の拠点となって、学区民の絆を深めています。

### ●千種小学校(今・昔)



### ●千種コミュニティセンター



指 標	千種学区
人 口	9,022人
世帯数	5,765世帯
面 積	0.751km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	5.4%
県外転出人口比率	3.5%
15歳未満人口比率	7.9%
65歳以上人口比率	24.8%
外国人人口比率	6.7%

(監修:千種学区連絡協議会)

## 千石学区

千石学区は、千種区の南西に位置し、南は昭和区、西は中区と境を接し、JR中央線が学区の西端を南北に通り、100メートル道路(若宮大通)が東西に走り、区内でも交通量の多い地域です。通勤・通学に便利な場所で近年、転勤・入社などで若い世代の転入が多く、学習塾が多い学区でもあります。1961年に創立し現在に至っています。

16の自治会と11の諸団体により構成された連絡協議会に於いて毎月1回、定例会を開催して、事業の企画・運営に取り組んでいます。会員相互の連携を保ち、地域社会の福祉推進目的として学区内の民間企業と協力し融和と発展のため、情報の共有、行事開催に関する企画、行政機関からの情報伝達などを行っています。

### ●千石小学校(今・昔)



### ●サッポロビール工場跡(今)



### ●サッポロビール名古屋工場(昔)



指 標	千石学区
人 口	6,779人
世帯数	4,055世帯
面 積	0.597km <sup>2</sup>
県外転入 人口比率	6.2%
県外転出 人口比率	5.0%
15歳未満 人口比率	10.1%
65歳以上 人口比率	21.4%
外国人 人口比率	5.4%

(監修:千石学区連絡協議会)

## 内山学区

内山学区は、明治45年5月、愛知郡千種尋常小学校分校として開設されて以来の古い学区です。大正10年に池内尋常小学校と改称して、終戦まで池内学区と呼ばれていましたが、戦後「内山学区」に変わり現在に至っています。なお、学区の由来は千種村と呼ばれていた当時、広大な敷地を占めていた字内山によったものといわれています。

このあたりの地域は、古代においても耕地、特に水田として開発されていたと推定されています。学区内にある高牟神社は、成務天皇(131年-192年)の頃の創建とされる弥生時代から続く由緒ある神社で、村人の武器や鉄製の農機具等を納めた倉が後に神社になったといわれています。

学区内には現在、南北に都通、東西に桜通、錦通、広小路通の4本の幹線道路が走り、地下鉄東山線の今池駅、千種駅、JR中央線の千種駅があります。この地域の交通網の発展は、今池を中心とした地域の開発を促進し、広大な住宅地の出現をもたらしました。また、学区内にある東南、西南、北の三つの商店街は今池商店街連合会を結成し、夏まつりの共同開催などを行っています。

### ●内山小学校(今・昔)



### ●千種駅(今・昔)



### ●千種郵便局(今・昔)



指 標	内山学区
人 口	7,895人
世帯数	5,670世帯
面 積	0.612km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	7.1%
県外転出人口比率	6.8%
15歳未満人口比率	5.2%
65歳以上人口比率	21.1%
外国人人口比率	9.0%

(監修:内山学区連絡協議会)

## 大和学区

大和学区は、区の北西に位置し、西はJR中央線をはさんで、東区と境を接しています。また、地区の中央を環状線が南北に縦断し、北側を基幹バスが通る県道名古屋一田初線（出来町通）が東西に走っています。

江戸時代のこの地区は、名古屋の城下町の東に位置し、農業が盛んでした。その頃、村社であった素盞男社の辺りは竹藪が多く、藪に囲まれた神社として信仰され、現在も「やぶ天王」の名で親しまれています。

明治時代になると、名古屋製陶所をはじめ多くの陶磁器工場がつくられ、明治39年には千種兵器廠、大正7年には陸軍造兵廠名古屋機器製作所ができ、工場のまちとして賑わいました。

千種区が誕生した昭和12年、池内学区（現内山学区）から分かれて当学区の前身である「松軒学区」として独立しました。昭和20年の空襲で大きな被害を受けましたが、戦後の焼け跡に疎開先から帰ってきた人々がまちづくりに取り組みはじめ、昭和21年、「みんな仲良く、大きな和で手をつなごう」という意味を込めて、学区名も「大和」と変わりました。

### ●大和小学校（今・昔）



指 標	大和学区
人 口	6,528人
世帯数	3,459世帯
面 積	0.474km <sup>2</sup>
県外転入 人口比率	6.4%
県外転出 人口比率	5.4%
15歳未満 人口比率	13.5%
65歳以上 人口比率	19.3%
外国人 人口比率	5.2%

## 上野学区

上野学区は、区の中央北部に位置し、明治13年、永弘院に寺子屋方式の上野学校が誕生して以来の歴史ある学区です。昔は、狩野村と呼ばれ、現在地より北にありましたが、矢田川の氾濫で南方の高台に移ったため、そのあたりを上野と呼ぶようになったといわれています。

当時は、学区のほとんどが赤土の荒野であったため、土地の人々は開墾に相当な苦労があったといわれています。

大正3年には、鍋屋上野浄水場が完成し、現在でも学区のシンボルになっています。そして、昭和の始め頃から野原や田畑に工場が建てられるようになり、都市化が進みました。学区には、公園、神社、寺院など由緒ある史跡が多く、下方町の名の由来となった、下方左近貞清が城主であった上野城址・勝軍地蔵(永弘院内)や江戸時代の神道学者である吉見幸和の墓所などがあります。また、古くから祭礼の奉納行事として行われている「鍋屋上野町源氏天流棒の手」は、名古屋市無形民俗文化財に指定されています。

昭和59年には、天満通の東沿いに、水道通水70周年を記念して「天満緑道一水の小径」がつくられ、区民の憩いの場となっています。

上野小学校内に「ふれあいのやかた」という、郷土博物館があり、昔の生活や郷土の歴史を学べる教材になっています。地域と学校の交流の場ともなっています。

### ●上野小学校(今・昔)



### ●上野天満宮(今・昔)



### ●ふれあいのやかた(今)



### ●鍋屋上野浄水場(昔)



指 標	上野学区
人 口	15,272人
世帯数	7,374世帯
面 積	1.831km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	3.5%
県外転出人口比率	3.4%
15歳未満人口比率	13.0%
65歳以上人口比率	26.0%
外国人人口比率	2.6%

(監修:上野学区連絡協議会)

## 高見学区

高見学区は、区の西方中央部に位置し、西は平坦地、東は起伏に富む丘陵地となっています。「高見」の名は、このあたりが古代洪積期にできた台地の東端に位置し、平山としての高さがあったところに由来しています。

この荒涼とした台地は江戸時代に田畑の開墾が進められ、農村地帯となりましたが、明治末期になって製陶工場や繊維工場の進出により都市化がはじまりました。大正7年、陸軍造兵廠千種機器製作所の操業を境に人口が激増し、工場の町、住宅地域へと変貌しました。仲田の商店街は、工場に働きに来る人々で大変賑わいました。

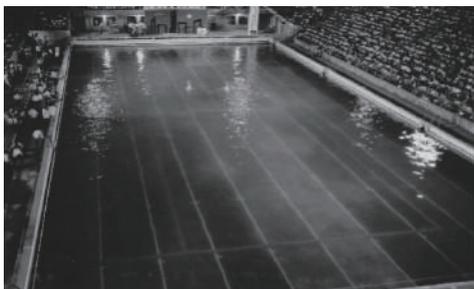
しかし、昭和20年の空襲で、商店街や機器製作所も焼け、学区の3分の1が焼土と化してしまいました。戦後、機器製作所の跡地には、千種公園、東市民病院（現在の東部医療センター）、若水中学校、愛知県立千種聾学校などが建設されました。

かつてこの地には、灌がい用の池として「蝮ヶ池」「振甫池」「鉄砲板池」がありましたが、鮎や鰻のとれた6,000坪の蝮ヶ池は大正末期に埋め立てられ、現在は数平方メートルの小池となって、「蝮ヶ池龍神」が祀られています。町名の「池下」は「蝮ヶ池下」に由来するものです。

### ●高見小学校(今・昔)



### ●振甫プール(昔)



### ●振甫プール跡の碑(今)



### ●池下駅(今・昔)



指標	高見学区
人口	13,130人
世帯数	7,256世帯
面積	1.059km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	4.3%
県外転出人口比率	3.6%
15歳未満人口比率	10.6%
65歳以上人口比率	28.3%
外国人人口比率	3.8%

(監修:高見学区連絡協議会)

## 春岡学区

江戸時代、このあたりは鳴海庄古井村といわれ、用水池が掘られ、新田の開発も進み、耕地化が進みました。また、塩付街道が南北に走っており、鳴海辺りで出来た塩を遠く信州方面へ運ぶ運送路として、盛んに利用されていました。

明治の中頃までは、畑や田が一面にひろがる田園地帯でしたが、明治の後半に入って名古屋電気軌道覚王山線が開通するころから、このあたりも急速に都市化が進みました。

昭和8年に、現在の春岡小学校の前身である丸田尋常小学校が開校し、千種学区から分離独立しました。戦後の昭和21年に丸田国民学校が春岡国民学校と改称され、ついで、昭和22年に春岡小学校と改称されたことに伴って春岡学区となり、現在に至っています。

当学区内には史跡が多くあり、松尾芭蕉の弟子である月空庵露川の碑がある法応寺、徳川家の葵の紋が彫られている門のある法蔵寺、一畑山薬師寺、昔の塩付街道を旅する人の無事を祈った馬頭観音などがあり、文化と歴史を感じることができます。

### ●春岡小学校(今・昔)



### ●月空庵露川の碑(法応寺)



### ●葵の紋(法蔵寺)



### ●馬頭観音像



指 標	春岡学区
人 口	10,870人
世帯数	6,922世帯
面 積	0.735km <sup>2</sup>
県外転入 人口比率	5.5%
県外転出 人口比率	5.1%
15歳未満 人口比率	8.8%
65歳以上 人口比率	21.5%
外国人 人口比率	5.9%

(監修:春岡学区連絡協議会)

## 田代学区

田代学区は区を中心に位置しており、北から南西にかけて丘陵地が続いています。そして、学区内には広小路通、姫池通、田代本通といった幹線道路が十文字に交差しています。学区内には古墳群がみられるなど、古くから人々が生活していたと考えられています。戦国時代に織田信秀が末森城を築き、この地区が歴史に登場するようになりました。江戸時代になると、ため池がつくられたことにより水田がひらけ、耕地化が進みました。

明治の後半に入ると、日暹寺(今の日泰寺)が建立され、門前町として発展しましたが、名古屋電気軌道覚王山線が開通すると、商店街が形成され、住宅のまちとしても発展することとなりました。

明治25年には、田代小学校の前身である広徳学校が田代尋常小学校となり、昭和22年に田代小学校と改名され、現在に至っています。

学区内には史跡も多く、城山八幡宮をはじめ、薬師瑠璃光如来のある松林寺、徳川義直の生母(相応院)の菩提寺である相応寺、徳川義直の御用医師を勤めた張振甫によって建てられた鉈薬師などがあり、区内でも史跡の宝庫となっています。

### ●田代小学校(今・昔)



### ●日泰寺(今・昔)



### ●覚王山交差点(今・昔)



指 標	田代学区
人 口	21,690人
世帯数	11,254世帯
面 積	1.882km <sup>2</sup>
県外転入 人口比率	3.9%
県外転出 人口比率	4.3%
15歳未満 人口比率	13.5%
65歳以上 人口比率	23.4%
外国人 人口比率	3.3%

(監修:田代学区連絡協議会)

## 東山学区

東山学区は昭和18年東山小学校が田代小学校から独立し、昭和22年東山小学校と改称して東山学区となり、令和4年に80周年を迎えました。

学区内を走る幹線道路である東山通りを挟み南北に住宅地が広がり、南側には東山動植物園、北側には平和公園があり区民の憩いの場になっています。東山の丘陵地は「黄土」と呼ばれる白質粘土と窯作るのに恵まれており、縄文時代の土器が出たり、古墳時代～鎌倉時代の長い間「あながま」を使って、焼き物が作られていたあとが、鹿子町、清住町、唐山町、日和町などで発見されています。

100年前は田畑とところどころに集落がある程度でしたが今では本山交差点から、東山通りと北東にのびる猫洞通を中心に商店街、近代的なマンションが多く立っています。

東山学区は住民との絆を大切にし、年に3回グランドゴルフ大会、夏祭り・盆踊り大会・体育祭と学区民がふれあう場があり、とても盛大に行われます。

### ●現在の東山学区



指 標	東山学区
人 口	18,942人
世帯数	10,235世帯
面 積	2,411km <sup>2</sup>

(監修:東山区政協力委員会)



### ●昭和の初めの鹿子坂



### ●現在の鹿子坂



### ●昭和44年猫洞通



### ●現在の猫洞通



### ●町別対抗グラウンドゴルフ大会



### ●夏祭り・盆踊り大会



### ●体育祭



## 見付学区

見付学区は、昭和57年、東山小学校分校が見付小学校として独立したことにより誕生した千種区でいちばん新しい学区です。「見附」の名は、藩政時代、中秋の名月に宴が張られた月見坂の正面に位置していたことからついたといわれています。

古く、縄文時代の初めには、学区のほとんどは陸地でしたが、山崎川に沿った地域だけが入江のようになっていて海に迫っていました。かつては、石橋蘿窓や刑部陶痴らの文化人が居を構え、風雅な生活を送ったといわれています。

江戸時代には、猫ヶ洞池などによる灌がいが進み、本山のあたりは水田が広がっていましたが、南部はほとんどが畑で山林と藪が点在していました。

昭和12年に東山動植物園の開園にあわせて覚王山―東山公園間の市電が開通し、13年には鏡ヶ池の東側に名古屋帝国大学の木造校舎が建設されました。

戦後、昭和38年には池下一東山公園間の地下鉄が開通し、41年には名古屋大学の各学部の移転が完了し、藪や山林の点在する東山の丘陵地が一大文教地帯となりました。その後、人口の増加に伴って、昭和46年に東山小学校分校が開校し、57年の見付小学校の独立へと至りました。

### ●見付小学校(今・昔)



### ●名古屋大学(今・昔)



指 標	見付学区
人 口	8,448人
世帯数	4,537世帯
面 積	1.552km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	8.4%
県外転出人口比率	6.4%
15歳未満人口比率	14.0%
65歳以上人口比率	18.4%
外国人人口比率	5.8%

## 星ヶ丘学区

星ヶ丘は、明治9年(1876年)に丘陵地を開拓し始め、昭和13年(1938年)の時点でも人家は13戸にすぎませんでしたが昭和31年(1956年)に公団星ヶ丘住宅の建設が始まるとともに、都市化の波が押し寄せ、昭和33年(1958年)に東山小学校分校が開設されました。そして、昭和37年(1958年)に児童数が増えたため星ヶ丘小学校が出来ました。これにより星ヶ丘学区が誕生しました。

今では、星ヶ丘学区には大学校が2校、高等学校が3校と千種図書館がある文教地域であると共に、地下鉄星ヶ丘駅とバスターミナルがあり交通便も非常に良いところです。そしてデパートや星ヶ丘テラス等の商店街、さらに千種スポーツセンターもあり、東山動植物園と平和公園が隣接する非常に住みやすい地域として大きく発展してきました。

星ヶ丘学区の主な活動の一つである、夏の風物詩の「学区盆おどり大会」は地域役員の協力を得て、環境の良い星ヶ丘ボウル駐車場屋上にて開催することで、多くの地域の人だけでなく他学区の人も参加して楽しく踊っておられます。また「スポーツフェスティバル(学区運動会)」は小学校の運動場にて開催し、多くの地域住民が参加しています。

また、星ヶ丘学区のコミュニティセンターでは高齢者向けや子育て向けの講座や地域の人々のための教室が開催されると共に、「コミセンまつり」にて1年間の成果発表も行い、地域の発展にも寄与しています。

### ●星ヶ丘小学校



### ●空から見た星ヶ丘学区



### ●星ヶ丘盆おどり大会



### ●星ヶ丘テラス



### ●星ヶ丘バスターミナル



指 標	星ヶ丘学区
人 口	6,803人
世帯数	3,562世帯
面 積	2.135km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	5.3%
県外転出人口比率	5.4%
15歳未満人口比率	14.5%
65歳以上人口比率	24.8%
外国人人口比率	2.9%

(監修:星ヶ丘学区連絡協議会)

## 自由ヶ丘学区

自由ヶ丘学区は、区の中央よりやや東方の丘陵地に位置しており、戦後、千種台団地の建設とともに発展してきた新しい学区です。「自由ヶ丘」の町名は、住民が募集、選定、請願して、昭和30年に制定されました。

このあたりは、元来、高燥で水に乏しく農業には不向きな土地で、江戸時代には、尾張徳川藩の狩猟地のひろがる山林となっていて、日当たりの良い斜面に茶畑が開拓される程度でつつじなどの灌木の茂る丘陵でした。

大正から昭和にかけては、陸軍の演習地となり、うさぎ狩りも行われました。大正11年には県の愛知学園(明治42年5月開設)が瀬戸から移転してきましたが、昭和38年4月に春日井市へ移転し、その跡地に39年4月愛知県がんセンターが開設されました。

戦後、戦災による深刻な住宅難を解消するために、この地域に一大住宅団地造成が進むに従い、様相は一変しました。昭和24年度の楠荘から始まり、14年間に約2,500戸の市営住宅が建設されました。

### ●昭和30年頃の自由ヶ丘学区



### ●平成13年の自由ヶ丘学区



指 標	自由ヶ丘学区
人 口	7,189人
世帯数	3,551世帯
面 積	0.826km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	2.2%
県外転出人口比率	2.7%
15歳未満人口比率	12.7%
65歳以上人口比率	32.0%
外国人人口比率	4.0%

(監修:自由ヶ丘学区連絡協議会)

## 富士見台学区

富士見台学区は、千種区の北東の高台に位置しています。昔、初冬の晴れた日には、ここからはるか富士山が見られることもあったといわれていて、それが「富士見台」という地名の由来になっています。

この地域一帯は、かつて尾張藩御料林として鹿狩り・猪狩りが行われ、その御料林の北裾を通るほうろく街道を時折商人が行き来する程度でした。

明治にはいと、ほうろく街道の交通量も増え、千代田橋学区との境界になっている山口街道(今の県道名古屋田糲線)では長久手でとれる亜炭をつんだ馬車が通るようになり、活気を帯びました。それでも、明治30年頃、汁谷付近には民家が17軒しかなかったそうです。

この静かな丘陵地帯が大きく変貌を遂げたのは戦後になってからのことで、昭和29年頃にこの高台一帯に住宅団地を建設する計画ができました。団地が完成するに従って人口は激増し、昭和30年には上野小学校の児童数は2,500人までふくれあがり、2部授業を続けなければならない状態でした。そこで、昭和35年4月に分校ができ、昭和37年4月に富士見台小学校として独立・開校し、富士見台学区が誕生しました。

### ●富士見台小学校(今・昔)



### ●茶屋ヶ坂公園(今)



指 標	富士見台学区
人 口	15,151人
世帯数	6,516世帯
面 積	1.673km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	1.8%
県外転出人口比率	2.1%
15歳未満人口比率	14.4%
65歳以上人口比率	27.4%
外国人人口比率	2.2%

(監修:富士見台学区連絡協議会)

## 宮根学区

宮根学区は、「坂のある街」です。

千種区の北東、平和公園の北側に位置、詳しくは、北側を田村名古屋線と香流川、南側を猪高車庫前と希望ヶ丘を結ぶハローワーク前千代が丘団地南のバス通り、東側を猪子石中学、西側を愛知高校に囲まれた坂のある街です。

宮根小学校を中心に、南北に5本メインの坂があり、近い将来住民の提案でそれぞれ名前がつく予定です。

猪子石村から名古屋市に合併されたのが昭和30年、学区の独立が昭和44年、およそ3800世帯の街です。

学区独自のコミュニティセンターは無く、隣の千代田橋学区と共同で名古屋市環境局の支援のもと「香流橋地域センター」を運営しており、香流橋プールと同じ建物を分け合っ、空調完備された体育室、図書室、ステージのある和室、会議室等を完備し、両学区の多くの住民に利用されています。

近場にあるもの、栄・名駅行きの基幹バス停、一社・星ヶ丘・池下行きバス停、ハローワーク、アオキスーパー、ケーズデンキ、幼稚園、小学校、ドラッグストア、診療所等々いろいろ便利です。あなたも坂の道を歩いてみませんか！きっと何かが見つかるかも??猪子石中、猪高車庫・・・と猪はでませんがひょっとして狸は・・・?

### ●宮根小学校(今・昔)



### ●至る所に坂道が(今)



指 標	宮根学区
人 口	8,077人
世帯数	3,823世帯
面 積	0.696km <sup>2</sup>
県外転入人口比率	2.3%
県外転出人口比率	1.9%
15歳未満人口比率	10.9%
65歳以上人口比率	31.9%
外国人人口比率	3.9%

(監修:宮根学区連絡協議会)

## 千代田橋学区

千代田橋学区は、昭和54年に宮根学区と富士見台学区の一部がそれぞれ合併してできました。当学区は、守山区との境界にあたる矢田川に沿って東西に長く、その真ん中あたりを竹越地区と香流橋地区とを分けるように香流川が流れています。

この香流川は長久手の丘陵・三ヶ峰を源とするもので、西へと流れくんだり、富士見台あたりの丘陵におされて北のほうへ曲り、矢田川と合流しています。夏には、田に水を入れるのになくってはならない川でしたが、ひとたび大雨が降ると、洪水となって堤防を破り、周辺の農家や耕地を脅かしました。現在、竹越一丁目と千代田橋二丁目の町境となっており、矢田川の千代田橋までつながる道は、「横堤」といわれ、幕末に、香流川からあふれた水をここでくいとめて矢田川に導くために築かれたものです。

学区にある香流橋センターは、環境局猪子石工場の余熱を利用した温水プールに集会室・図書室等をもつ地域センターが併設されており、地域住民の交流・親睦の場となっています。

●千代田橋小学校(今・昔)



●猪子石工場(今)



指 標	千代田橋学区
人 口	8,274人
世帯数	3,742世帯
面 積	0.946km <sup>2</sup>
県外転入 人口比率	1.3%
県外転出 人口比率	1.2%
15歳未満 人口比率	11.7%
65歳以上 人口比率	32.1%
外国人 人口比率	3.6%

(監修:千代田橋学区連絡協議会)

# 数字から見る千種区の特徴

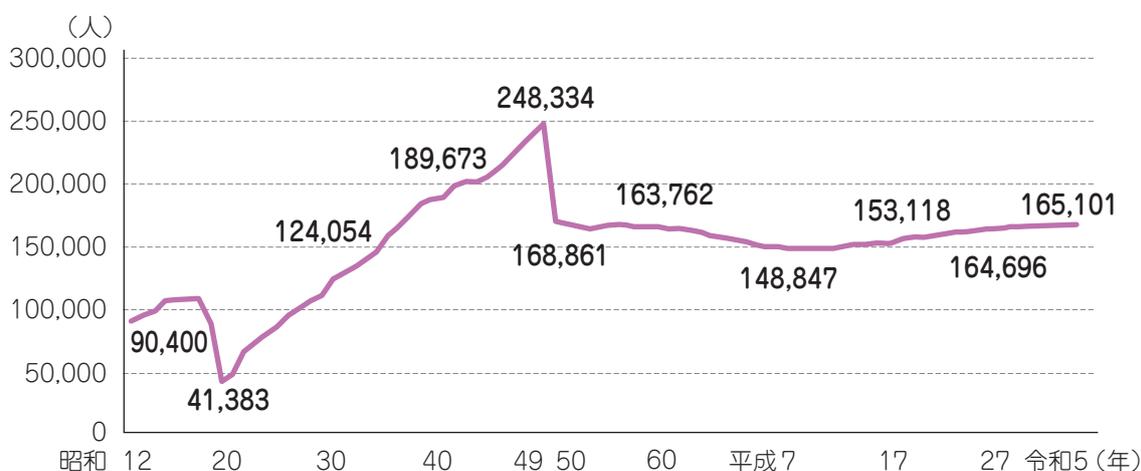
## (1) 数字から見る千種区

(○の数は16区中順位)

区分	千種区	名古屋市	名古屋市	
人口	164,338人 ④	2,322,143人	令和6年4月1日	※1
世帯数	88,733世帯 ③	1,162,340世帯	令和6年4月1日	※1
面積	18.18km <sup>2</sup> ⑧	326.46km <sup>2</sup>	令和6年4月1日	※1
都市公園面積	203.94ha ①	1,313.63ha	令和5年4月1日	※2

出典:統計なごやWeb版 ※1:毎月1日現在の世帯数と人口 ※2:名古屋市みどりの年報

### ■ 千種区の人口の推移 (各年10月1日現在)



千種区の人口は、太平洋戦争の影響などにより昭和20年頃大きく減少しました。その後復興とともに増え続け、昭和49年にピークを迎えました。昭和50年に猪高地区が千種区から分区した以後は、緩やかな人口推移となっています。

### ■ 千種区の年齢区分別人口の推移 (各年10月1日現在)



0~14歳 15~64歳 65歳以上 出典:統計なごやweb版「年齢別人口(全市・区別)、人口ピラミッド」より作成

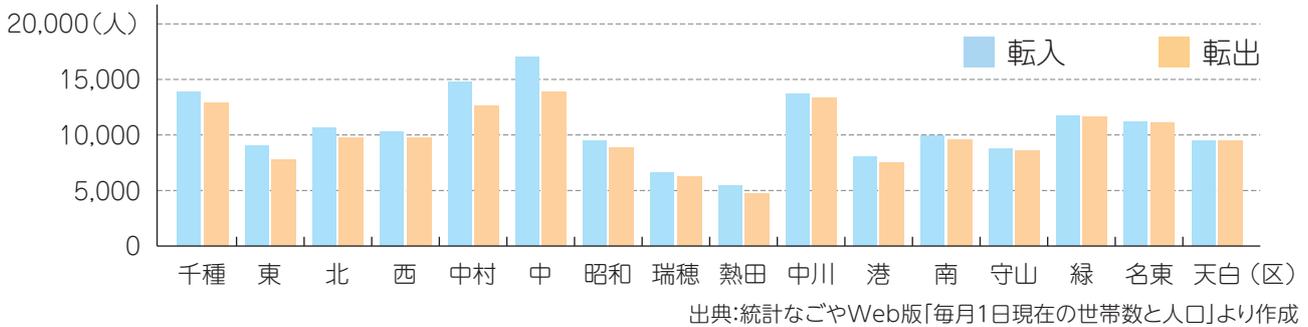
千種区の年齢区分別人口の推移を見ると、0~14歳の年少人口は近年横ばいで推移しており、15~64歳の生産人口は減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者人口は年々増加しています。長期的な少子化傾向もあり親となる世代の人口も減少していることから、高齢化が進んでいます。

## (2) 千種区の特性

### 住民の異動が多いまち

転入者数・転出者数ともに年間1万3千人前後で、転入者数は16区中3番目、転出者数も16区中3番目と、住民の異動が多いことが特徴です。特に交通の利便性の高い東山線沿線学区の住民の異動が多くあります。

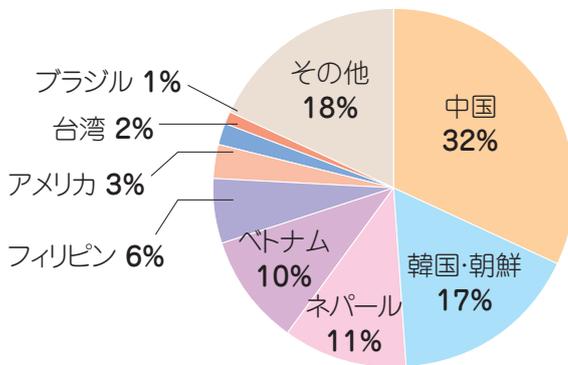
#### ■ 転入転出者数 (令和5年4月～令和6年3月)



### 外国人が多く暮らすまち

外国人の数が16区中6番目となっており外国人が多く暮らすまちです。国籍別の内訳では、中国、韓国・朝鮮に次いで、ネパール、ベトナムと続いています。

#### ■ 外国人の国籍別内訳 (令和6年4月1日現在)



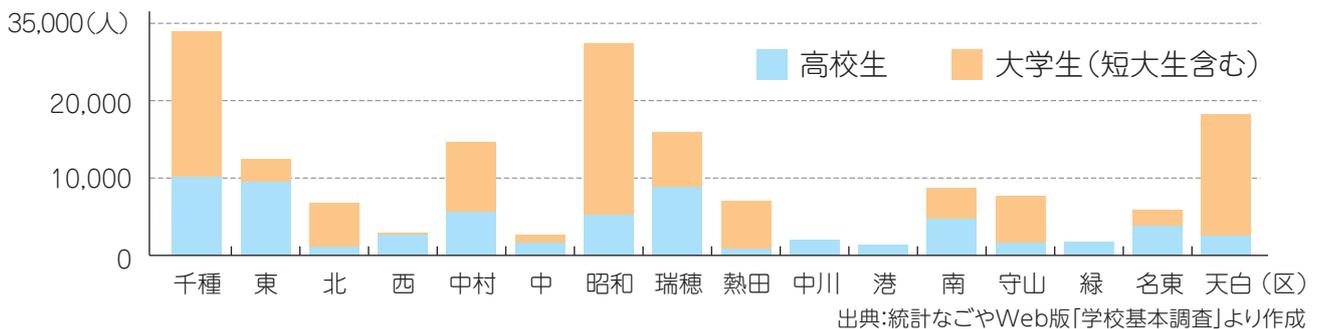
国名	人数(人)
中国	2,167
韓国・朝鮮	1,126
ネパール	754
ベトナム	691
フィリピン	431
アメリカ	175
台湾	113
ブラジル	64
その他	1,254
合計	6,775

出典:統計なごやWeb版「外国人公簿人口」より作成

### わかものが多く活動するまち

高校が9校、生徒数が約1万人で16区中最も多く、大学が3校、学生数が約2万3千人で16区中2番目に多く、わかものが多く活動するまちです。

#### ■ 高校生・大学生(短大生含む)の数 (令和4年5月1日現在)





# 第3 千種区将来ビジョンについて



基本  
目標

## 「住みたいまち 住みやすいまち 千種区」

～暮らしやすさを実感できるまちをめざして～

基本目標の実現に向けて、5つの「めざすまちの姿」と「信頼される区役所づくり」ごとに施策を掲げ、施策の方向性を「施策の柱」として示していきます。  
また、取り組みの成果をはかるために成果指標と目標値を設定しています。

### めざすまちの姿

1 地域で支え合い、  
安心・安全に  
暮らせるまち

施策 1 地域防災力の向上を図ります

施策 2 犯罪や交通事故のない  
安心・安全な地域づくりを進めます

2 安心して子育てができ、  
子どもや若者が  
健やかに成長できるまち

施策 3 安心して子育てができるよう  
子育て家庭を応援します

施策 4 子どもや若者が健やかに成長できる  
環境づくりを進めます

3 誰もがいきいきと  
健康で安心して  
暮らせるまち

施策 5 高齢者が地域で安心して  
暮らせるよう支援します

施策 6 生涯にわたって心身ともに  
健康に暮らせるよう支援します

施策 7 障害に対する理解を深め、  
障害のある人の自立と社会参加を支援します

4 魅力と活力にあふれ、  
誰もがまちの魅力を  
語れるまち

施策 8 まちの魅力発信を積極的に進めます

施策 9 多様な世代等が参加できる  
文化芸術・スポーツ事業を進めます

5 快適な  
都市環境と  
感じるまち

施策 10 きれいで気持ちよく暮らせる  
環境をつくります

施策 11 身近な自然にふれる機会をつくります

信頼される区役所づくり

施策 12 区民ニーズの把握

施策 13 区民サービスの向上



## 第 4 基本目標の実現に向けて



### めざすまちの姿 1

### 地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち



**施策 1** 地域防災力の向上を図ります

**施策 2** 犯罪や交通事故のない安心・安全な地域づくりを進めます

#### 施策の柱

- 各世帯で、「自助」「共助」の必要性を理解し、家具の転倒防止や家庭内備蓄を進め、避難行動のイメージを持てるように働きかけを強化します。
- 犯罪発生件数を低く抑え、交通事故発生件数減少を目指します。
- 地域においての町内会・自治会の存在意義や役割を広く知らしめます。

#### 現状・課題

- 家具の転倒防止対策など、自助の取り組みを行っていない区民が一定数います。
- 住民の異動が多いことで地域コミュニティが希薄化し、地域防災活動への参加者が一定数に限られています。
- 災害の危険性が低い区域もあり、災害対策の必要性への理解が広がり難い状況です。
- 高齢者を狙った特殊詐欺が頻発しているほか、自転車盗が多発しており、刑法犯の約3割を占めています。
- 交通事故死亡者数が増加傾向にあり、特に自転車利用者の交通ルールに対する認識が十分に浸透していないため、自転車による人身事故が急増しています。
- 地域活動の中心となる町内会・自治会の意義や役割が住民に十分に理解されていないため加入率が低下しています。

成果指標	基準値(現状値)	目標値(令和10年度)
地域における防災への取り組みが進んでいると思う区民の割合	72.8% (令和5年度)	87%
家庭で家具の固定などの転倒防止対策を行っている区民の割合	74.7% (令和5年度)	100%
安否確認を実施している自主防災組織の割合	—	100%
犯罪や交通事故のない、安心・安全なまちづくりが進んでいると思う区民の割合	74.9% (令和5年度)	78%
区内における刑法犯の認知件数	1,070件 (令和5年)	1,000件
区内における年間交通事故死者数	1人 (令和5年)	0人
町内会・自治会の活動が大切だと思う区民の割合	84.6% (令和5年度)	87%



家具の転倒防止作業



ちくさ子ども防災キャンプ



交通安全キャンペーン



コミュニティ交流会

# 安心して子育てができ、子どもや若者が健やかに成長できるまち



**施策 3** 安心して子育てができるよう子育て家庭を応援します

**施策 4** 子どもや若者が健やかに成長できる環境づくりを進めます

### 施策の柱

- 子育て家庭の孤立を防ぎ、安心して子育てができるよう、子育て情報の提供や相談支援を充実し、親子で参加できる交流の場等、地域でのつながりづくりを進めます。
- 子どもや子育て家庭の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、多機関協働・連携を図り、重層的な支援を進めます。
- 子どもや若者に対して、地域・学校・行政が一体となって見守り、防犯・交通安全・非行防止の意識醸成を図ります。

### 現状・課題

- 住民の異動が多く、地域とのつながりの希薄化が進んでいるため、乳幼児を持つ家庭の子育てに対する不安感の増大や孤立が懸念されます。
- 子育て世代の転入が多く、子どもが安心して過ごせるトワイライトスクールやトワイライトルーム、留守家庭児童育成会等の子どもの居場所確保に課題があると認識しています。
- 子どもや子育て家庭をとりまく社会情勢や生活環境の変化にともない、課題が複雑化・複合化しています。
- 子どもや若者の巻き込まれる事件・事故や、非行も一定数見られます。



子育て支援情報がいんど



ミニ子育て広場

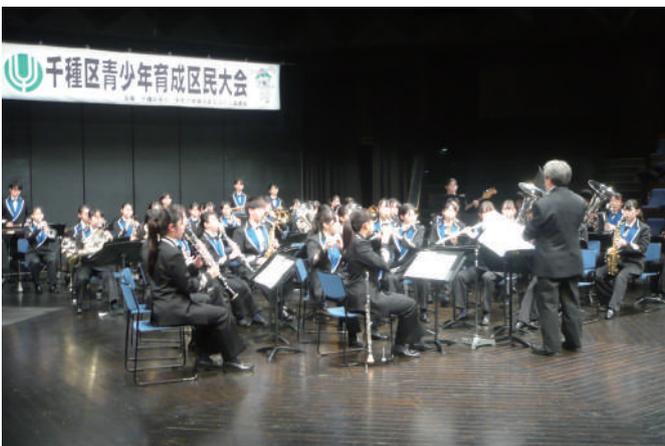
成果指標	基準値(現状値)	目標値(令和10年度)
子ども(主に乳幼児)を安心して育てることができるまちだと思える区民の割合	82.2% (令和5年度)	87%
新生児乳児訪問実施率	95.8% (令和5年度)	100%
子育て支援事業における参加者の満足度	97.5% (令和5年度)	100%
子ども(主に小学生以上)や若者が健やかに成長できるような取り組みが進んでいると思う区民の割合	76.4% (令和5年度)	80%
防犯・交通安全・非行防止に係る啓発を受けた子どもや若者の人数	12,406人 (令和5年度)	14,300人



オレンジリボン啓発コーナー



エンゼル訪問(赤ちゃん訪問)



青少年育成区民大会



青少年健全育成ポスター

## めざすまちの姿 3

### 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち



**施策 5** 高齢者が地域で安心して暮らせるように支援します

**施策 6** 生涯にわたって心身ともに健康に暮らせるように支援します

**施策 7** 障害に対する理解を深め、障害のある人の自立と社会参加を支援します

#### 施策の柱

- 地域包括ケアシステムを推進するとともに、多機関協働・連携を図り、重層的な支援を進めます。
- 高齢者がこれからの時間を自分らしく暮らしていく支援や、家族も含めて本人が望む暮らしについて普段から話し合える環境づくりを進めます。
- 高齢者が地域とのつながりを深められるよう、高齢者サロン等の身近な居場所への参加を促します。
- 認知症の人の意思が尊重され安心して暮らせる地域づくりを支援します。
- 健康寿命の延伸を目指して自発的かつ継続的に介護予防に取り組むきっかけとするため、フレイル予防の重要性を周知・啓発します。
- アジアパラ競技大会を契機として、障害のある人へ必要な配慮や支援が行えるよう、正しい知識や理解の普及に努めます。

#### 現状・課題

- 各々の機関が単独では対応できない複合的な課題を抱えている世帯が増えています。
- 高齢者のグループ活動への参加意向は市平均より高いが、実際の参加者数が低い状況です。
- 認知症に対する周囲の理解に不安があり、認知症の家族の方が周囲に支援を求めにくい状況です。
- 令和2年から3年間続いた感染症により地域活動やイベントが中止され、外出機会が減少し、フレイルの進行が懸念されています。
- 障害のある人の社会参加が進み、より一層の障害に対する正しい理解が求められています。
- 愛護手帳所持者及び精神障害者保健福祉手帳所持者は増加傾向にあります。

成果指標	基準値(現状値)	目標値(令和10年度)
生きがいや楽しみを持って生活している高齢者の割合	86.8% (令和5年度)	92%
認知症サポーター養成講座受講者数 (累計)	10,522人 (令和5年度)	14,000人
健康づくり事業への参加者数	621人 (令和5年度)	1,200人
障害のある人が自立して、安心して暮らせるまち だと思える区民の割合	65.1% (令和5年度)	75%
障害に対する啓発事業の参加者数	320人 (令和5年度)	370人



高齢者サロン



地域包括ケア講座



「私の想いを つないで帳」



認知症サポーター養成講座



ヘルプマークとヘルプカード



区役所での授産製品販売

魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち



**施策 8** まちの魅力発信を積極的に進めます

**施策 9** 多様な世代等が参加できる文化芸術・スポーツ事業を進めます

施策の柱

- 千種区の豊かな歴史的資産等の認知を高めることで、区民の地域に対する誇りと愛着を醸成します。
- 多様な世代が気軽に文化芸術にふれられる機会を創出することで、文化芸術活動が活発な魅力あるまちを目指します。
- アジア・アジアパラ競技大会の開催によるスポーツへの関心の高まりを利用し、スポーツによる交流の輪を広げることで、活力ある地域づくりを目指します。

現状・課題

- 区の豊かな歴史的資産等を知る機会が少なく、認知度が高くありません。
- 文化芸術事業について、若い世代が参加したくなる機会が少なく、参加者に世代の偏りがあります。
- スポーツ事業について、誰もが参加できる機会が少なく、参加者の固定化が見られます。



日泰寺



揚輝荘



城山八幡宮

成果指標	基準値(現状値)	目標値(令和10年度)
区内に魅力的な歴史的資産等があると思う区民の割合	84.9% (令和5年度)	87%
魅力発信事業の参加者数(累計)	1,973人 (令和5年度)	6,000人
この1年間に文化芸術に触れる機会があった区民の割合	53.8% (令和5年度)	59%
文化芸術事業の参加者数	2,553人 (令和5年度)	2,700人
スポーツ事業の参加者数	2,623人 (令和5年度)	2,900人



家族ジョギング・ウォーキング大会



区民剣道大会



美術展



子どもいけばな体験教室



いけばな展

### 快適な都市環境と感じるまち



**施策 10** きれいで気持ちよく暮らせる環境をつくります

**施策 11** 身近な自然にふれる機会をつくります

#### 施策の柱

- 犬猫に迷惑を感じる区民をなくします。
- 資源リサイクルの意義や出し方のルールを周知徹底し、資源分別率の向上を目指します。
- 管理不全による景観阻害や保安上危険な状態にある空家・空地の減少を目指します。
- 周囲の生活環境に様々な悪影響を及ぼしているいわゆるごみ屋敷の発生(再発含む。)を防ぎます。
- 緑のまちづくり活動団体の設立呼びかけや活動支援など、地域と連携して緑のまちづくりを進めます。

#### 現状・課題

- 飼犬のふんを持ち帰らない飼主がいることや、繁殖力の強い猫の増加により、苦情が寄せられています。
- 学生や外国人等、市政の情報が伝わりにくい市民や、転出入が激しい共同住宅の住居者に分別ルールが定着していません。
- 樹木、雑草の繁茂により景観を阻害している空家・空地、建物の老朽化により保安上危険な状態にある空家が一定数点在しています。
- いわゆるごみ屋敷と呼ばれる住居が、周囲の生活環境にさまざまな悪影響を及ぼしています。
- 花の名所として、茶屋ヶ坂公園のアジサイや千種公園のコリが多くの人に知られており、都市公園面積は市内1位です。
- 緑のまちづくり活動団体活動者の高齢化が進んでおり、今後、活動者数の減少が見込まれます。

成果指標	基準値(現状値)	目標値(令和10年度)
きれいで気持ちよく暮らせるまちだと感じる区民の割合	92.4% (令和5年度)	95%
ペットの飼主マナーの向上に向けた事業参加者のうち効果があると思うと回答した人の割合	80.0% (令和5年度)	90%
「緑のまちづくり活動」に携わった人数 (年間延べ人数)	12,960人 (令和5年度)	13,300人



クリーンキャンペーン



ごみ・資源に関する小学校での「出前講座」



飼主マナーパトロール



千種公園のユリ



茶屋ヶ坂公園のアジサイ

## めざすまちの姿

# 信頼される区役所づくり



### 施策 12 区民ニーズの把握

### 施策 13 区民サービスの向上

## 施策の柱

- 幅広い年齢層の人から意見を聴取し、区政運営に活かしていきます。
- 区民からの要望を丁寧に聞き取った上で関係機関と協議し、実現に向けて努めます。
- 区役所窓口業務のデジタル・トランスフォーメーションを進め、「行かなくてよい」「待たなくてよい」「書かなくてよい」「分かりやすい」窓口の実現を目指します。
- 多様な区民の立場に立ってわかりやすく丁寧な説明を行うとともに、正確で迅速な事務処理を行います。
- 様々な広報媒体を用いて、区民が国籍や言語に関わらず必要な情報を必要な時に取得できるよう積極的に情報を発信します。

## 現状・課題

- 区民会議、区民アンケート及び学生を対象としたわかもの会議を実施しているが、聴取した意見中、若年層からの意見の割合が低い状況です。
- 各学区に担当職員を配置する地域担当制により、区役所と地域のコミュニケーションを図っています。
- 区民から、住民票の写しなどのコンビニ交付に対する要望を多く受けています。
- 繁忙期の窓口での待ち時間が長く待合スペースも限られるため、待ち人数等のウェブ配信を行い混雑緩和に努めています。
- 広報なごや、区ウェブサイト、Facebook、チラシの配布等の様々な広報媒体を積極的に活用しています。
- 様々な国籍の外国人が増加している中で、文化および慣習の違いを踏まえて対応する必要性が高まっています。

成果指標	基準値(現状値)	目標値(令和10年度)
区役所が区民ニーズを把握していると思う区民の割合	72.9% (令和5年度)	83%
区役所の窓口サービスに満足している区民の割合	97.0% (令和5年度)	100%

## 千種区役所庁舎の改築

築50年以上が経過し、老朽化が著しく、合築施設の耐震性が確保されていない千種区役所庁舎の改築について、今後の予定をお知らせします。

### 新庁舎の予定

- 改築場所  
旧庁舎所在地  
(千種区覚王山通8丁目)
- 建設予定施設  
区役所、保健センター、土木事務所等
- 建設スケジュール  
令和5～6年度 実施設計・解体工事  
令和6～10年度 建設工事

### 新庁舎の 階構成イメージ

#### 【多目的室】

市民が様々な目的で利用できる多目的室を計画しています。

#### 【図書館】

(スマートライブラリー※) 利便性が高く市民が気軽に利用できる図書館を計画しています。



北西側イメージパース

#### 【アトリウム】

広小路通りに面したメインエントランスとして、3層吹き抜けのアトリウム(内部公開空地)を計画しています。

※スマートライブラリー: 駅周辺など便利な場所で、本を選ぶことや、貸出・返却をすることができます。

住みたいまち  
住みやすいまち  
千種区



## 第2期 千種区将来ビジョン

発行・編集

千種区役所区政部企画経理課

〒464-8644 名古屋市千種区星が丘山手103番地

(電話) 052-753-1932 (FAX) 052-753-1924

(HP) <http://www.city.nagoya.jp/chikusa/>

発行年月 令和6年5月